

断
材
zai.jp

日本経済新聞

土曜版

NIKKEI 夕刊

2019年 11月30日 土
(令和元年)

外食も旅館も カモンベビー

赤ちゃん連れて親も楽
しめる飲食店や宿泊施設
が増えた。子どもが
小さいときは、周囲に気
を使って遠出を控える親
たちも多い。店側は
「ベビーフレンドリー」な
施設やサービスを提供す
ることで、そんな親たち
の来店を促している。親
同士の口コミやSNSで
の拡散で、来店客やリビ
ーターの増加につながっ
ているようだ。

ママ友の口コミを意識

リアンのコース料理は2千円と3500円の2種類だ。
■店選び、SNSも影響もつすべ1歳になる長女と訪れた亀井あかりさん(29)は「外食だと子どもが騒ぐのを気にして、ファミリーレストランなど行く店が偏りがち。安心できる環境でおいしい料理を楽しめるのが魅力だ」と話す。
運営会社によると、オンライン以来客は増え続け、いまでは土日を中心に予約で満席の日も多い。3世代で訪れる客もいてテーブル単価は高く、昨年には神宮前にある高級イタリアン「カシタラランジ」も午後5時からの3時間を子ども連れ専用タイムにした。
子育て情報誌「Baby-mo(ベビモ)」(主婦の友社)の石橋紘子編集長は「ママインフルエンサーが発信するお



赤ちゃん連れの母親たちでにぎわうイタリアンレストラン「ザ・ドーム」(東京都豊島区)

リピーター増狙う

「赤ちゃん専門」も
JR京都駅近くの旅館4代目の子で経験をもとに6年前、旅館全体を赤ちゃん連れ専門にした。「乳児を連れていく他の客にいやな顔させられたり、騒音が気にならない離れなど価格の高い部屋に回されたりした。京都には子どもNGの宿も多く、親子で気を使わずに楽しんでもらえる宿にしたかった」という。
部屋数を減らし、1泊2食付きで1人2万7千円から当初より7千円近く値段を上げたが客足は変わらず。「最近は何もせずに旅行という関西近郊からのお客さんが増えた」という。
「ベビモ」子育て総研の藤田洋社長は、「乳幼児連れは料金が高価な時期に旅行に出るものが多く、閑散期の稼働率を上げる効果がある」と指摘。ベビモをすすめる宿もあり、親にとって最も重要な「安心」を売りにリピーターを増やしている宿が多い」と話している。(横浜太郎)

角の丸い家具や柔らかい床など、赤ちゃんの安全に配慮した(栃木県那須町のホテルエビナール那須)

「赤ちゃん専門」も
JR京都駅近くの旅館4代目の子で経験をもとに6年前、旅館全体を赤ちゃん連れ専門にした。「乳児を連れていく他の客にいやな顔させられたり、騒音が気にならない離れなど価格の高い部屋に回されたりした。京都には子どもNGの宿も多く、親子で気を使わずに楽しんでもらえる宿にしたかった」という。
部屋数を減らし、1泊2食付きで1人2万7千円から当初より7千円近く値段を上げたが客足は変わらず。「最近は何もせずに旅行という関西近郊からのお客さんが増えた」という。
「ベビモ」子育て総研の藤田洋社長は、「乳幼児連れは料金が高価な時期に旅行に出るものが多く、閑散期の稼働率を上げる効果がある」と指摘。ベビモをすすめる宿もあり、親にとって最も重要な「安心」を売りにリピーターを増やしている宿が多い」と話している。(横浜太郎)



赤ちゃん連れの母親たちでにぎわうイタリアンレストラン「ザ・ドーム」(東京都豊島区)